

1 / 2号機排気筒ドレンサンプピットへの対策

2016年9月29日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved. 無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

1. 1 / 2号機排気筒ドレンサンプピットに関わる経緯と今後の予定

TEPCO

【調査に係る経緯】

- 1 / 2号機排気筒周辺については、現在も雰囲気線量が高く調査が困難なエリアである。（最新の雰囲気線量は、2015年9月17日、10月26日公表済）
- 1 / 2号機排気筒ドレンサンプピット周辺は、遠隔重機等を用いて既設構造物の配置状況を調査済みである。（2015年12月17日公表済み）
- 水位・水質の調査及び仮設排水設備の設置について、遠隔ロボット等による作業成立性をモックアップにて確認し、作業成立性に問題のないことを確認したことから、7/25より現地準備作業を開始。（2016年7月28日公表済み）

【実施内容】

- 7/25～8/25にかけて、現地準備作業を実施。
- 8/26～9/4にかけて、ピットカバーを切断・開口し、ピットカバー内部を確認。
- 9/5～9/6にかけて、ピット内点検口を削孔。
- 9/7～9/9にかけて、ピット内水位測定等を実施し、水位が約60cm（約0.6³m）であることを確認。
- 9/12にピット内たまり水のサンプリング実施。（9/13放射能濃度分析結果確認）
- 9/14にピット内たまり水を2号機RW/Bへ移送実施。（約0.3³m）

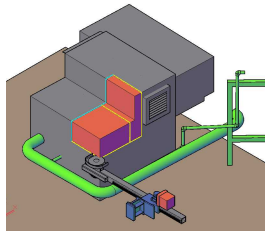
【今後の予定】

- ピット内点検口のポリカーボネート蓋を切断後、水位計を設置。
- ピット内たまり水を適宜移送ができるように、一時受けタンクを設置。

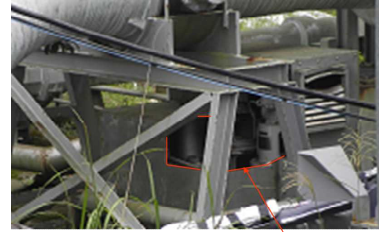
©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved. 無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

2. 1/2号機排気筒ドレンサンプピットカバー開口及び点検口削孔

- 1/2号機排気筒ドレンサンプピット内を調査するため、周辺ガレキの撤去等の準備作業を実施。(H28.7.25~H28.8.25)
- サンプピットカバーについて、クローラー型ロボットに取り付けたカッターにて切断作業を実施し、ピットカバーの開口を実施。(H28.8.26~H28.9.4)



カッターを取り付け、ピットカバーを切断し、開口

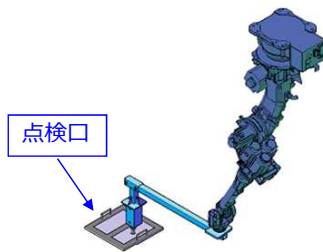


ピットカバー開口後

ピットカバー開口部

クローラー型ロボットによるピットカバー開口作業イメージ

- 1/2号機排気筒ドレンサンプピットカバーに設けた開口部から、ピット内点検口にクレーン型ロボットに取り付けたドリルにて、ピット内点検口に削孔。(H28.9.6)



点検口



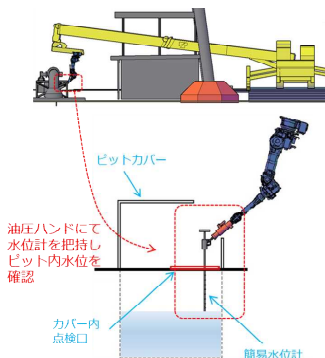
削孔状況

- ・ 削孔部より水面の確認出来ず。
- ・ 削孔時に水の飛び散りなし。
- ・ ドリルが濡れてる様子なし。

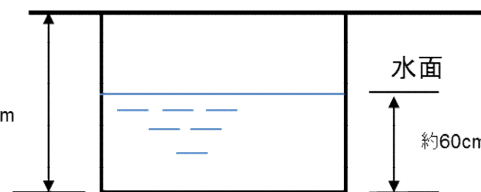
ピット内点検口削孔状況 (9/6実施)

3. 1/2号機排気筒ドレンサンプピット水位測定・サンプリング

- カバー内点検口の開口部より水位計を挿入し、ピット内水位を確認。

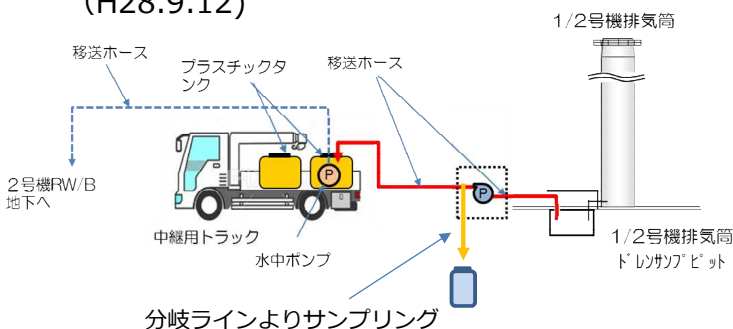


- ・ 測定日：H28.9.9
- ・ 水位：約60cm (0.6m³)



1/2号機排気筒ドレンサンプピット

- プラスチックタンクへの移送ラインから分岐しているラインを用いてサンプリングを実施。(H28.9.12)

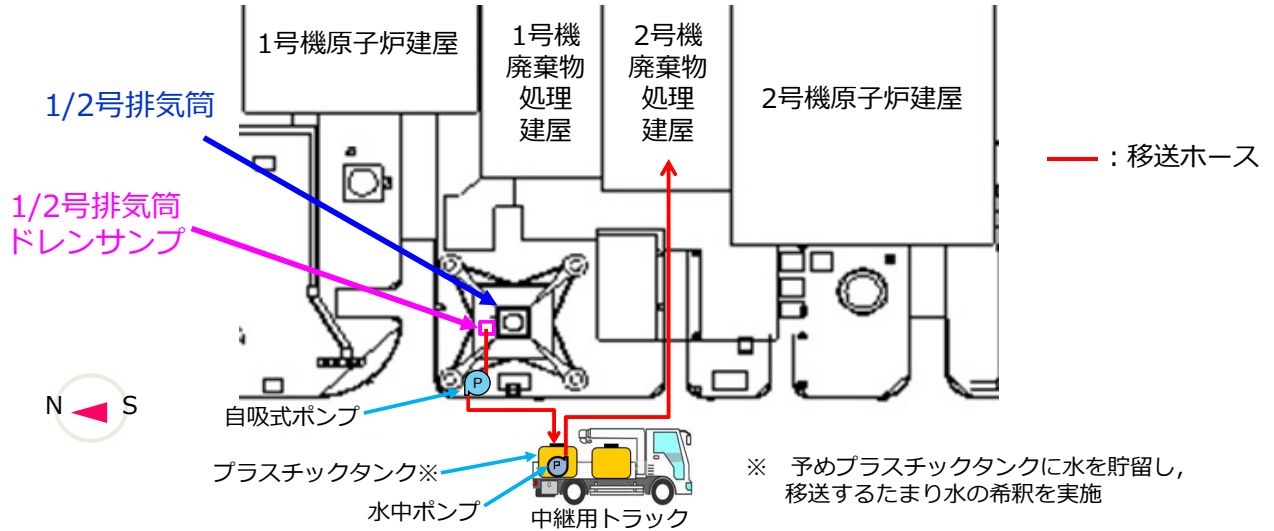


ピット内たまり水分析結果 (H28.9.13)

項目	全β放射能	Cs-134	Cs-137
単位	Bq/L	Bq/L	Bq/L
測定値	5.96E+07	8.26E+06	5.19E+07

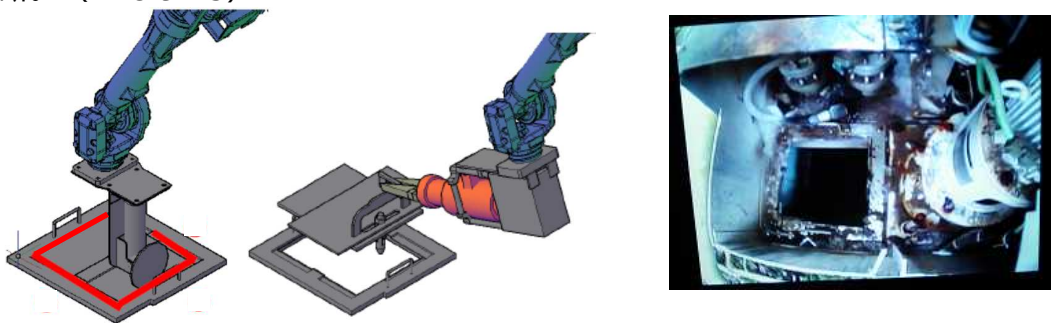
4. 1/2号機排気筒ドレンサンプットたまり水移送

- 1/2号機排気筒ドレンサンプットのたまり水 (0.3m³) を中継用トラックに積んだプラスチックタンクに受け、水中ポンプにより2号機廃棄物処理建屋へ移送。(H28.9.14)



5. 1/2号機排気筒ドレンサンプット内点検口切断および水位計設置

- 水位計およびピット水の移送配管を設置するため、ピット内点検口のポリカーボネート蓋を切断。(H28.9.23)



点検口ポリカーボネート蓋切断計画図

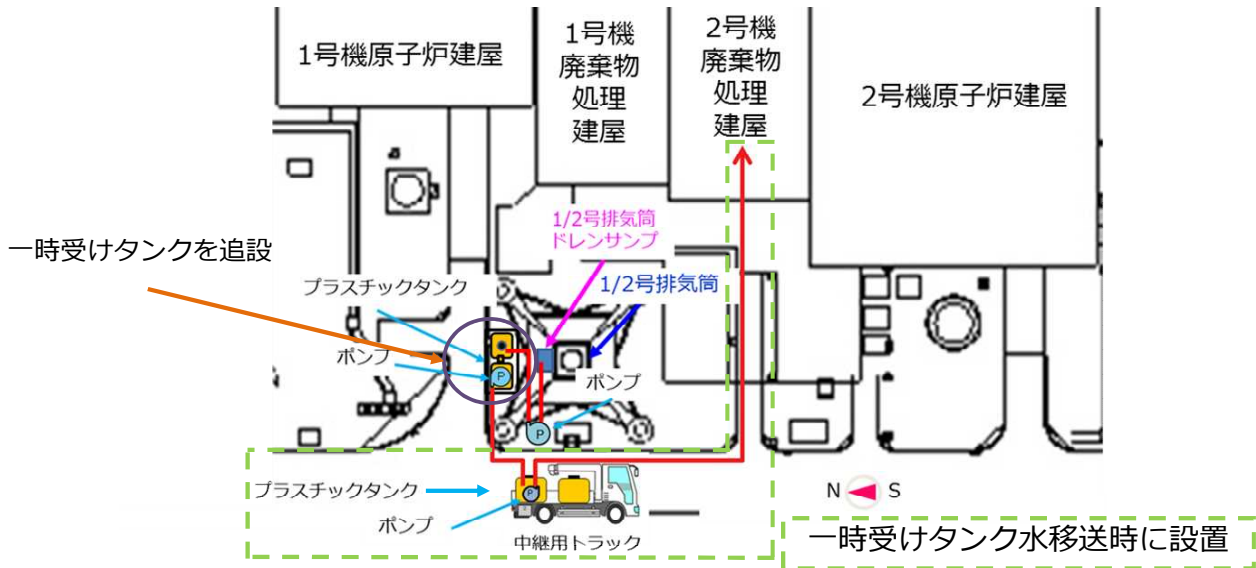
- 点検口の開口部に以下のように水位計および移送配管を設置。



水位計および移送配管設置計画図

6. 1 / 2号機排気筒ドレンサンプット用一時受けタンク設置

- 一時受けタンク（プラスチックタンク）を追設し、排気筒ドレンサンプから適宜たまり水を受けることができる設備とする。
中継用トラックは建屋へのたまり水移送時にのみ設置する。



- 今後の対応について
 今後は設置した仮設排水設備を用いて、ピット水位を確認しつつ、適宜たまり水の移送を行う。

7. 1 / 2号機排気筒ドレンサンプットへの対策工程

- 1 / 2号機排気筒ドレンサンプット対策に関わる作業の実績及び予定は以下の通り。
- 今後、水位計の設置および一時受けタンクの設置等を行う。
- 今後は、ピット水位の確認を行いつつ適宜たまり水の移送を行う。

項目	9月	10月	11月
ピット内状況確認 (水位)	■		
ピット内たまり水 サンプリング	■		
ピット内たまり水移送	■		
ピット内点検口の蓋の切断		■	
一時受けタンク設置		■	
水位計設置		■	
水位の確認 たまり水移送 (適宜)			■